

荒川地域内商工会景況調査報告書

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 荒川商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 40 事業所 (うち小規模事業者数 40 事業所)
ウ 回答企業数 40 事業所 (うち小規模事業者数 40 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

令和3年7月～令和3年12月
(調査時点 令和3年12月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	2	5.0%	2	5.0%
建設業	9	22.5%	9	22.5%
卸・小売業	12	30.0%	12	30.0%
サービス業	17	42.5%	17	42.5%
合計	40	100.0%	40	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、終息も見通せない状況が続き景況は全体的には悪化している。業種に関わらず多くの企業が「仕入単価の上昇」を経営課題として挙げており、物価上昇による資金繰りの悪化を懸念している状況が伺える。今後の景況感についても「悪化」との回答が多くなっており、対策を急ぐ必要がある。

【代表者の年齢と後継者の状況】

回答先企業の代表者の年齢は40～50代が約半数を占めている。後継者の有無については、なしが約7割ほどという結果となった。

代表者の年齢

20～30代	40～50代	60～70代	80代以上
10事業所	19事業所	2事業所	5事業所

後継者の状況

後継者 あり	後継者 なし
13事業所	27事業所

【売上高】

売上高については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「増加」から「減少」を引いた状況が、前年同期比で▲30%、前期比で▲25%と多少ながら回復傾向が見られるが、今後の見通しでは▲27.5%となっており、先行きの不透明感から今後は悪化すると予想される。

前年同期比

増加	不変	減少
8	12	20

前期比

増加	不変	減少
9	12	19

今後の見通し

増加	不変	減少
6	17	17

【採算】

採算性については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「好転」から「悪化」を引いた状況が、前年同期比で、▲37.5%、前期比で▲42.5%とより悪化しており、今後の見通しでは▲30%となっている。

前年同期比

好転	不変	悪化
3	19	18

前期比

好転	不変	悪化
3	17	20

今後の見通し

好転	不変	悪化
4	20	16

【仕入単価】

仕入単価については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「上昇」から「低下」を引いた状況が、前年同期比、前期比で55%となっている。今後の見通しも55%となっており、仕入単価の上昇が顕著に現れる結果となった。

前年同期比

上昇	不変	低下
23	16	1

前期比

上昇	不変	低下
23	16	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
24	14	2

【販売（客）単価】

販売（客）単価については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「上昇」から「低下」を引いた状況が、前年同期比、前期比で▲2.5%と横ばいで推移しており、今後の見通しも▲2.5%となることから横ばいが続くとされる。

前年同期比

上昇	不変	低下
4	31	5

前期比

上昇	不変	低下
3	33	4

今後の見通し

上昇	不変	低下
6	29	5

【資金繰り】

資金繰りについては前年同期比、前期比、今後の見通しについて「好転」から「悪化」を引いた状況が、前年同期比で▲42.5%、前期比▲40%であり、今後の見通しも▲37.5%となっており、若干の回復が見られるが厳しい資金繰り状況であることが伺える。

前年同期比

好転	不変	悪化
1	21	18

前期比

好転	不変	悪化
0	24	16

今後の見通し

好転	不変	悪化
2	21	17

【雇用動向】

雇用動向については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「増加」から「減少」を引いた状況が、前年同期比、前期比で▲10%、今後の見通しで▲12.5%とマイナスの結果となったが、「不変」とする回答が全期間において8割を超えており、特に変化なしとする回答が最も多くなっている。

前年同期比

増加	不変	減少
3	30	7

前期比

増加	不変	減少
1	34	5

今後の見通し

増加	不変	減少
1	33	6

【景況判断】

景況判断については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「好転」から「悪化」を引いた状況が、前年同期比で▲10%であるが、前期比で▲35%、今後の見通しでは▲42.5%という結果となった。令和3年から特に厳しい情勢となり、今後も厳しい状況が続くとされる。

前年同期比

好転	不変	悪化
3	15	21

前期比

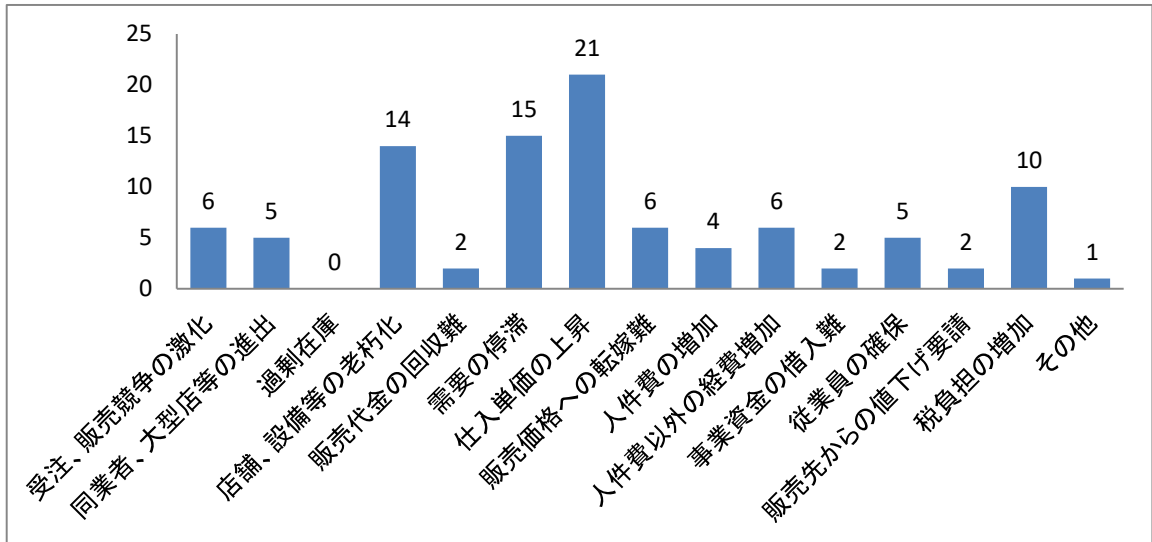
好転	不変	悪化
3	19	17

今後の見通し

好転	不変	悪化
4	14	21

【経営上の問題点】

「仕入単価の上昇」が21件（52.5%）と最も多く、物価の上昇による経営への影響が色濃く出ている。以下「需要の停滞」が15件（37.5%）、「店舗・設備等の老朽化」が14件（35%）、「税負担の増加」が10件（25%）と続く結果となった。



【今後の支援制度に期待すること】

「資金繰り支援」が21件（52.5%）と最も多く、以下商品券発行などの「需要喚起支援」が11件（27.5%）、「感染対策支援」が4件（10.0%）、「その他」が1件となり、長引く感染症の影響により直接的な支援を求める声が多い結果となった。

